

## クロヅルについて (山崎 敬)

Takasi YAMAZAKI : On *Tripterygium regelii* Sprag. et Takeda

日本にはクロヅル *T. regelii* の他に、南九州にコバノクロヅル *T. doianum* Ohwi がある。両者は非常に近縁で、牧野先生は同一種類の変種関係とする考えを述べているほどである。ところがクロヅル自体にも地域的に異なる2型が認められる。本州の中部、北部ではほぼ日本海側に分布していて、関東地方では日光の湯元付近や谷川岳でないと見られない。中部地方でも赤石山脈には分布していない。ところが西日本では紀伊半島や四国、九州の山地にでてくる。東日本と西日本との間に分布の不連続があるように見られる。事実東日本と西日本とのクロヅルには形が異なる傾向がある。

東日本のものは、葉の先が次第に尖る。また果実は小さく、8-13 mm で、生品では翼が三方に広がっているのが、長さの方が長いのが、標本にして押すと横に広がるので長さとはほぼ等しくなる。西日本から朝鮮・満州のものは、葉の先は急に狭まって先端は細長く尖る。東日本のものでも先が急に狭まるものがあるが、細長く尖ること

はなく、中間的のものもあるけれど、両者の傾向は明瞭である (Fig. 1)。西日本のものの果実は大きく、長さ13-20 mm、標本にした時の幅は10-18 mm で、幅がやや狭い。このような違いが認められるし、分布域が異なることから、両者を変種関係のものとして区別するのがよいと思う。

Sprague and Takeda が *T. regelii* を記載した際には Type を指定していない。使用した標本は、久住山、月山 (本道寺)、鳥海山、と朝鮮の京城のものである。この中のどれかを Type に選定しなければならない。西日本のものにする、と東日本のものには別の形質から書かれた変種があって、学名が面倒なことになるので、東日本のもので、東大にも Isotype がある月山 (本道寺) のものを Lectotype としたい。クロヅルの名は東日本のものに残し、西日本のものはサイゴククロヅルと呼びたい。クロヅルは東北地方の岩手南部から主に日本海側に沿って、福井県、滋賀県境にある三国山まで分布している。富山県東部までは普通に見

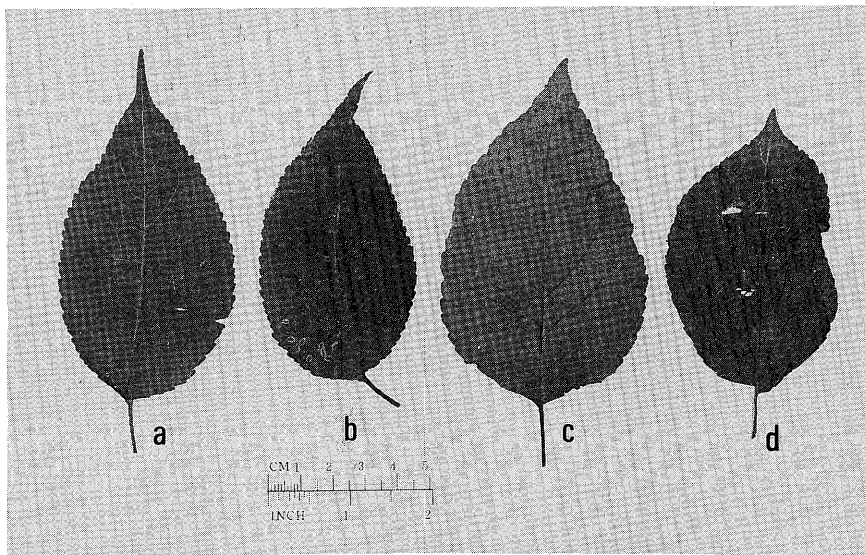


Fig. 1. Leaves of *Tripterygium regelii*. a and b, var. *occidentale*. c and d, var. *regalii*. a, Korea, Seoul, Pukansan (type). b, Okayama Pref., Naginosen. c, Nikko, Konseitoge. d, Miyagi Pref., Gaga-onsen.

られるが、富山県西部以西では稀れになる。サイゴクロヅルは本州では奈良県、三重県境の大台原山、奈良県の大峰山、中国山地の氷ノ山、邦岐山、冠山などに点々と分布し、四国と九州中部の山地、朝鮮、中国東北部に分布している。朝鮮では普通のものだけれど、日本ではあまり多くない。九州では市房山付近までで、霧島山以南、屋久島にはコバノクロヅルが分布する (Fig. 2)

井波氏の広島県植物図選 II : 60 図にクロヅルが描かれている。これは冠山のものをもとに描いたと思うので、サイゴクロヅルに当たることになる。全形がわかる葉は1枚しかないが、この先端はクロヅルと同じである。サイゴクロヅルで

は先がもっと細長くともがっているのが普通である。冠山のものでもそうで、図のような形の葉も時にでくることが一般的ではない。クロヅル、サイゴクロヅル、コバノクロヅルは外観がよく似ていて、区別の難しいものがでてくる。大井氏がコバノクロヅルを新種として記載した際に、熊本県の市房山の標本も引用している。同氏が *T. doianum* と手記した土井氏採集の市房山の標本が科学博物館にあるが、これはサイゴクロヅルである。熊本県植物誌 (1969) でもクロヅルはあるが、コバノクロヅルは明瞭に認識できないとしている。コバノクロヅルは霧島山以南に分布するようである。牧野先生のように変種とするのも一理あるが、サ

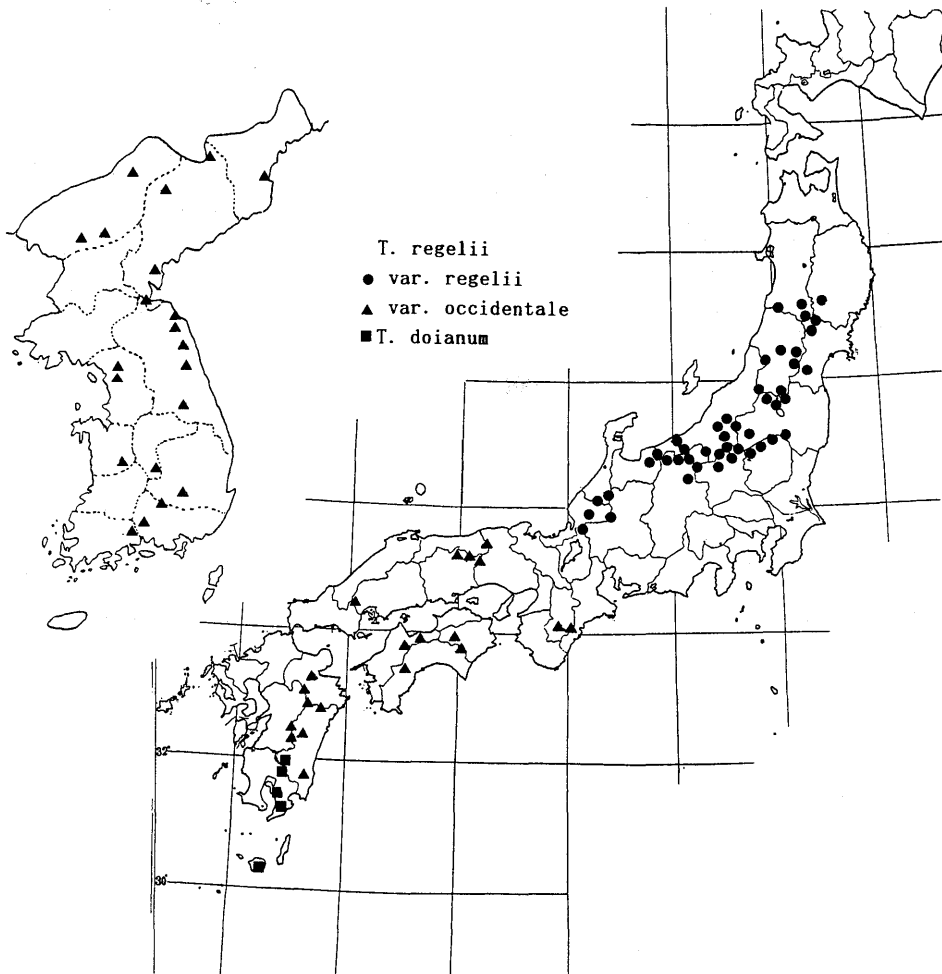


Fig. 2. Distribution of *Tripterygium regelii* Sprag. et Takeda and *T. doianum* Ohwi.

イゴククロヅルとクロヅルの関係よりはより明瞭な差があるので、コバノクロヅルは分化の程度の弱い種として認めてもよいであろう。

富山県ではクロヅルは東部には普通にあるが、中部以西では今まで見られていないこと(石川県との県境の医王山にあるらしいが、確認されていない)を確かめてくださった富山市科学文化センターの太田道人氏。岡山県の標本を利用させて下さり、同県ではサイゴククロヅルは東部にはあるが、中部以西では今まで見られていないことを確かめて下さった倉敷市立自然博物館の狩山悛悟氏に感謝します。

*Tripterygium regelii* Sprague et Takeda in Kew Bull. 1912 : 223(1912).

var. *regelii*

Lectotype. Gassan(Hondoji), Yamagata Pref. (R. Yatabe, Jul. 1887, K. TI).

var. *occidentale* Yamazaki, var. nov.

Jap. name. Saigoku-kurozuru.

Folia apice abrupte acuminata. Samarae late ellipticae, quadrangulatae, 1.3–2cm longae, 1–1.7cm latae.

Typus. Korea, Seoul, Pukanshan(T. Uchiyama, Oct. 14. 1900, s. n. TI).

Distr. W. Honshu, Shikoku, Kyushu, Korea and S. Manchuria.

(東京大学理学部附属植物園)

#### 参考資料

クロヅル *Tripterygium regelii* var. *regelii*

本州：岩手県；胆沢町，牛形山(M. Takahashi, Jul. 20, 1962, TI)。秋田県；雄勝郡，東皆瀬村(Sendai Bot. Gard., Sept. 2, 1972, TI)。虎尾山(Sendai Bot. Gard. Jul. 27, 1970, TI)。山形県；鳥海山(G. Nakahara, Aug. 8, 1903, TI)。月山，本道寺(R. Yatabe, Jul. 1887, TI)；関山，黒伏山(S. Okuyama, Aug. 16, 1952, TNS)。朝日岳700m(Iwatsuki et al., Aug. 11 1965, TI)。五色温泉(C. Suto, Jul. 1929, TI)。宮城県；栗駒(Sato et al., Aug. 1, 1974, TI)。鬼首，秀岳(Z. Kitayama, Sept. 6, 1961, TNS)。蔵王1500m(H. Ohashi, Jul. 1963, TI)。峨々温泉(T. Momiyama, Jul. 12, 1936, TI)。笹谷峠(Ohashi et al., Oct. 3, 1980, TI)。福島県；吾妻山，矢筈山(K. Midorikawa, Aug. 4, 1981, TI)。雄国沼(S. Kurosawa, Aug. 2, 1957, TI)。磐梯山(S. Hattori, Jul.

30, 1925, TI)。耶麻郡，日中温泉(S. Kurosawa, Aug. 5, 1957, TI)。田島町，駒止湿原(J. Murata, Sept. 1980, TI)。甲子温泉(H. Ohashi, Jul. 3, 1966, TI)。栃木県；那須，三斗小屋-板室900m(M. Mizushima, Aug. 18, 1948, TI)。三依村，独站900m(H. Kanai, Jul. 7, 1963, TI)。日光，男体山(F. Yamazaki, Sept. 15, 1965, TI)。日光，金精峠(S. Yoshimura, Jun. 24, 1930, TI)。群馬県；尾瀬，鳩待峠(M. Togashi, Jul. 19, 1950, TI)。法師温泉(S. Kurosawa, Jun. 19, 1959, TI)。谷川岳，湯掛曾川800m(T. Yamazaki, Aug. 16, 1973, TI)。武尊山(S. Kurata, Jul. 10, 1970, TOFO)。新潟県；飯豊山，大日岳2000m(T. Yamazaki, Aug. 1, 1943, TI)。守門岳800m(T. Yamazaki, Aug. 9, 1962, TI)。北魚沼郡，浅草岳1300m(T. Yamazaki, Aug. 10, 1962, TI)。勝山，谷峠(C. Chiu, 1892, TOFO)。北魚沼郡，湯之谷村，枝折峠(Kitamura & Murata, Aug. 20, 1969, TNS)。越後駒岳(B. Hayata Aug. 7, 1903, TI)。南魚沼郡，巻襪山(S. Noshiro, Jun. 14, 1979, TOFO)。苗場山，赤湯(S. Okuyama, Aug. 6, 1958, TNS)。高田，南葉山(S. Kurata, Jun. 18, 1945, TOFO)。妙高山(S. Kurata, Aug. 3, 1945, TOFO)。親不知(Yokouchi, 1926, TNS)。長野県；上高井郡，毛無峠(H. Koidzumi, Jul. 29, 1927, TNS)。下高井郡，志賀山2000m(K. Tuchiya, Aug. 5, 1977, TI)。菅平(Mimuro et Tsugaru, Jul. 29, 1973, TNS)。下水内郡，班尾山(M. Mizushima, Aug. 12, 1953, TI)。黒姫山(H. Koidzumi, Jul. 29, 1927, TNS)。戸隠山1000m(K. Midorikawa, Aug. 24, 1980, TI)。北安曇郡，小谷村，小谷温泉1200m(T. Kubo, Jul. 22, 1980, TI)。富山県；越中朝日岳，越道峠900m(Yamazaki et Kanai, Jul. 30, 1958, TI)。越中朝日岳，黒岩山(Y. et N. Kadota, Aug. 22, 1977, TI)。僧岳1400m(S. Nagai, Aug. 4, 1956, TI)。石川県；白山(J. Matsumura, Aug. 3, 1881, TI)。白峰村，市之瀬(M. Sakakibara, Jul. 31, 1972, TNS)。福井県；今立郡，部子山(Y. Hayashi, Aug. 10, 1940, TI)。岐阜県；白鳥，上在所-大杉(S. Watanabe, Jul. 27, 1963, TOFO)。滋賀県；三国山(G. Murata, Fl. Kinki in Hyogo-seibutsu 5-5 : 417, 1968)。

サイゴククロヅル *T. regelii* var. *occidentale*

本州：奈良県；大台ヶ原1300m(G. Murata, Aug. 23, 1956, TI)。大峰山，洞川-山上嶺(T. Momiyama, Jul. 14, 1955, TI)。兵庫県；氷ノ山1200m(G. Murata, Aug. 26, 1972, TI)。岡山県；東栗倉村，後山1300m(R. Kariyama, Aug. 9, 1988, no. 13574, 13575, Kurashiki, Sci. Mus.)；邦岐山(S. Nakahara, Jul. 18, 1953, TI)；苫田郡香々美北村泉山(R. Umeda, Aug. 16, 1916, Kurashiki, Sci. Mus.)。広島県；冠山(Z. Tashiro, Sept. 5, 1937, TNS)。

四国：徳島県；剣山，行場1800m(T. Yamazaki, Aug. 28, 1989, TI)。石立山1600m(T. Yamazaki, Aug.

10, 1976, TI). 愛媛県; 西赤石山 (T. Tuyama, Jul. 21, 1934, TI), 新居郡, 船木村, 下兜山 (T. Oda, Jul. 5, 1914, TI), 石槌山 (T. Makino, Aug. 1885, TI). 高知県; 矢筈山 (R. Yatabe, Aug. 1881, TI).

九州: 大分県; 鶴見岳 (M. Togashi, Oct. 2, 1961, TI), 九住山 (T. Yamazaki, Oct. 17, 1955, TI), 祖母山 (T. Nakajima, Aug. 1911, TI). 宮崎県; 高千穂町, 尾平越 (J. Murata, Jul. 1979, TI), 椎葉村, 中山峠 (H. Kanai, Oct. 20, 1959, TI), 北郷町, 鱈塚山 (Kawahara et al., Jul. 23, 1984, TI). 熊本県; 市房山 (T. Doi, Oct. 18, 1930, TNS), 益城郡, 国見山 (Y. Shimada, Aug. 11, 1957, TNS).

Korea: 咸鏡北道; 朱乙 (T. Nakai, Jul. 15, 1918, TI). 咸鏡南道; 漢岱里 (T. Nakai, Aug. 15, 1935, TI), 普天堡 (S. Ikuma, Aug. 22, 1919, TNS), 元山 (T. Nakai, Jun. 7, 1909, TI). 平安北道; 江界, 従浦鎮子 (T. Nakai, Jul. 25, 1914, TI), 昆盧峰 (T. Nakai, Aug. 16, 1916, TI). 平安南道; 雲山 (T. Imai, Aug. 4, 1912, TI), 陽徳 (T. Nakai, Jun. 15, 1928, TI). 江原道; 長箭, 高城子 (T. Nakai, Jul. 28, 1916, TI), 外金剛, 千仏山 (T. Nakai, Jul. 12, 1936, TI), 内金剛 (M. Kobayashi, Aug.

4, 1932, TI), 雪岳山 700-800m (J. Murata et Ko, Jul. 4, 1986, TI), 五台山 (K. Gen, Jul. 24, 1937, TI), 加里旺山 (S. Hohozawa, Jul. 27, 1941, TNS). 京畿道; 北漢山 (T. Uchiyama, Oct. 14, 1900, TI), 光陵 (T. Mori, Jul. 7, 1917, TI). 忠清北道; 俗離山 (T. Nakai, Aug. 12, 1934, TI). 忠清南道; 鷄籠山 (T. Nakai, Jul. 11, 1911, TI). 慶尚北道; 大邱 (T. Uchimura, 1934, TI), 伽耶山 700-800m (Ueda & al., Jun. 1979, TI). 慶尚南道; 知異山 (T. & F. Yamazaki, Aug. 20, 1982, TI). 全羅南道; 光陽, 玉竜面 (Murata & Go, Jun. 1, 1984, TI).

満州: 崗頭 (M. Takahashi Jul. 18, no. 922, TNS, 正確な場所は不明, 恐らく 1941 年, 牡丹江省).

コバノクロヅル *T. doianum*

九州: 宮崎県; 小林 (T. Inokuma, July 9, 1938, TOFO), 霧島山 (J. Matsmura, Aug. 4, 1882, TI). 鹿児島県; 始良郡, 吉松村, 中津川 (leg. ign., Aug. 1888, TNS), 甫与志岳 (Y. Momiyama, Oct. 4, 1958, TI), 稲尾岳 700m (Murata et Nakamura, Aug. 3, 1972, TNS), 屋久島, 花江河-湯泊 1400m (T. Yamazaki, Aug. 3, 1961, TI).

## デチンムル科 (金井弘夫)

Hiroo KANAI: Japanese Name of Hippocrateaceae

これは Hippocrateaceae の「和名」である。植物学用語集 (増訂版 1990 年) 付録の科の標準和名 636 ページに出ている。出典は田中長三郎 (1951): 果樹分類学 155 ページである。デチンムルは *Salacia naumanii* Engl. の土名で, 果は美味と記さいされている。Tanaka's Encyclopedia of Edible Plants of the World (1976) によれば, この名はバラオ群島の土名と記されている一方, 'emergency food' と書いてあるので, 味の保証はしかねる。科の標準和名表を作るとき, 私の持つデータベースを提供した。Hippocrateaceae はほ

とんどの本にヒボクラテア科と出ているが, 「和名」なのだから学名をそのまま読むことは避けようと, 日本語になっている名前を拾ったらこれがあった。たくさんの名前の中に混じっていて, 委員の方々が気付かぬまま通ってしまったのだろう。和名として, 広く通用するかどうかは, これからの使われ方による。動物などでは外国産のものにまで全部和名を与える分野もあるが, すくなくとも植物では, あまり無理をしない方がよさそうである。